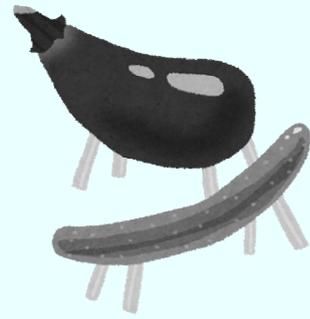


# ふるさとのうた

剣淵文化協会俳句部会



むらさきの四葩よひらに光る水の玉

西原町 児玉 久美子

茶柱ちばしらわが身占ふ夏の朝

旭町 宝澤 房子

お湿りをしのぐ傘のち団扇かな

仲町 玉野 研一

夏草や昔を語る友もななく

西岡町 渋谷 みさ子

夏の旅豪雨被害の天人峡

南桜町 宮腰 幸子

ひび居の寂けをいつて黄菅咲く

緑町 池田 良子

朝練のたま健やか夏の風

西町 金澤 頼子

轉りやひびきわ高し雨上がり

元町 印牧 安子

短夜に有りし記憶の二世代

緑町 齋藤 嘉子

老鷲を遠くに朝のひと仕事

仲町 坂部 和子

風鈴の音色も添えて晩ごはん

元町 西崎 弘子

一と盛り終えたる庭に花あやめ

屯田町 古屋 克江

電柱の影さえ嬉し盛夏なり

仲町 梅基 文子

髪切りて出掛けてみたし夏旺ん

旭町 大河 博子

見ずいこの料理番組夏盛り

西町 岸波 君江

この土地を終の棲みかと額の花

西町 杉浦 とし枝

夏の空声援とどけ子等の舞う

藤本町 鈴木 ゆき子

静かなり舗装路に降る夏の雨

東町 高草木 喜代子

境内の網戸いしなる高き声

西岡町 高瀬 久美子

白南風や響け招魂鼓笛の音

東町 高橋 世津子

疲れし夜甘酒とてき椅子いす

西町 文梨 清子

朝冷えの新聞を手にありがと

旭町 大河 茂

継ぎはぎつぎはぎ舗装埋めてる炎天下

仲町 芳賀 星子